vol.102
monthly issue
Octorber 2013

かしも通信

特集〈加子母歌舞伎〉

夏の風 娘引幕 誘われて

加子母中学校長 原 嘉幸

夏の風
娘引幕
誘われて

加子母中学校長
原 嘉幸

「校長先生、今年も出てみなれんか」

六月の初め、丹羽貞蔵さんから突然電話があった。「ついにきたか！」。昨年の明治座歌舞伎公演で伊藤小学校長さん・桂川ＰＴＡ会長さん・加藤駐在さん・粥川主任児童委員さんと五人で「白波五人男」を演じさせて頂いた。実は、迷っていた。「すいません。少し考えさせてください。」そういって電話を切った。桂川ＰＴＡ会長さん・加藤駐在さんは、今年も出るようだ。

「そうだ明治座にいってみよう。」

学校帰りに明治座によった。舞台には、娘引幕がひかれてあった。「どうしようかな」そう思いながら、畳に座り、その優雅な姿を見ていると突然、娘引幕が夏の風でゆらゆらと揺らめいた。まるで「舞台に立ちませんか」と誘うように。「娘引幕も誘ってくれている。よし、今年も頑張ってみよう」そう決心した。すぐに貞蔵さんに「今年もお願いします」と電話した。やると決めたら気持ちが晴れ晴れとした。

「今年の演目は『菅原伝授手習鑑　車引』で小・中学生と一緒に出てもらいます。」

七月六日の練習初日、台本を手渡されそう言われた。役は、藤原時平公。悪役だ。昨年も盗人の忠信利平だったから「二年続けて悪役だな。」そんなふうに甘く考えていた。しかし、この時平公、ただの悪人ではなかった。それは、稽古を重ねるごとに思い知ることとなる。さて、一緒に演じる中学生は、ベテラン中学二年生四人組、万由子さん、なつみさん、美月さん、花さんだ。そして小学生の一路君、真央さん、蘭叡君、るい樹君だ。他の演目で、同じくベテラン三年生の成美さん、二年生の若菜さん、美南さんも頑張っている。松本団女師匠に「今年も頑張って下さいね」と声をかけられた。勇気百倍、やる気満々になった。そして、長い稽古の日々が始まった。

九月八日までの二ヶ月間に十五日の稽古だが、

毎日台詞や振り付けを覚える稽古を家で、通勤の車の中で行うわけであるから、毎日が稽古となる。舞台稽古の初日までに台詞は、なんとか覚えた。去年の忠信利平の口調で「やあ。牛ぶち喰らう青蝿め・・・」と初めの台詞を言うとすぐに団女師匠に止められた。「う〜ん。もっと悪人になって、憎らしくいわなくっちゃ」その後、師匠に続いて台詞を言ってみるがなかなかうまくいかない。その後の稽古でも「もっと悪く。憎らしく」が続いた。いったい時平公とは、何者か？インターネットで調べると「なるほど！すごい悪人顔。この顔に似合う台詞が必要なのだ」と思った。

ベテランの中学生諸君は、さすがだ。

台詞も完璧に覚えてきている。そして、師匠の要求を次々にこなしていく。そんな彼女らの稽古が始まるまでの待ち時間や稽古後の姿をみていると、色々気がついたことがある。稽古前、七月の初めの頃は、舞台下で「あゆみ」と呼ばれる渡り板の上にマンガ開いて時間をつぶしているのだが、夏休みが終わりに近づいてくると、みんな宿題を持ってきて教えあったりしてやっている。さすが中学生。そして、稽古が終わると互いにアドバイスしながら台本に今日の稽古で師匠から言われたこと、振り付けの絵を書き込んだりしている。私より遙かに多い台詞と振り付けをみごとにやりきるのは、こういう地道な努力があってこそだと思った。

さて、いよいよ公演前日。

前日は三味あわせがあり、午前中から明治座に行かなければならないのだが、その日は、加子母中学校の体育大会。七名の中学生は、全力で取り組んだ。閉会式が終わってすぐに明治座に向かった。疲れているのに大丈夫かと心配していたが、稽古では、疲れも見せず役になりきって演じている。さすが！若さだな！ベテランだな！と感心した。

公演当日は、七時半に明治座集合。

まずは、顔師さんによる化粧。初めは、白色の地塗り。手際よく顔の隅々、首、そして腕へと塗られていく。次にいよいよ顔描きである。鏡がないのでどうなっているのかわからない。去年より念入りにたくさん塗られている気がした。できあがって後ろを振り向くと、「こわい〜」の声、別の部屋で鏡を見てびっくり、「こわい・・・」まさに歌舞伎の化粧のすごさを感じた。何も表情を創っていないのに、迫力あるにらみ。顔師さんは、顔をキャンバスにした、まさに芸術家、アーティストだ。次に衣装、何枚もの華やかな着物を重ねていく。そのたびにひもで締めていく、結構つらい。しかし、できあがるにつれ時平公になっていく。かつらをかぶれば、心も仕上がり時平公になっていた。廊下を歩くと大道具さん達がカメラを構える。スターになった気分。

さあ、いよいよ本番。

小中学生が頑張っている。私は、舞台の真ん中にある牛車の中に入って出番を待っている。しかし、外の舞台のようすが全く見えない。おまけに車は、壊れるようになっており、下手に触ると倒れてしまう。頭には大きな冠。動かず緊張して出番を待つ。太夫さんの「現れ出たる　時平のおとんど」で車が壊れ、いよいよ登場。見せ場は、みえを切った後に赤く塗った舌をべぇ〜と出して、演者を威嚇する場面。「こうちょう！」かけ声と拍手。いよいよクライマックス。全演者がそろってみえを切る。拍手とかけ声、飛び交うおひねりの中、幕がしまっていく。

やり終えた小中学生と笑顔を交わす。

といっても私の笑顔は、怖い化粧だから伝わらなかったかも。今年もやってよかった。そんな思いで一杯になった。歌舞伎は、多くの人に支えられてできあがっている。特に大道具の武蔵野美術大学の学生さんとＯＢのみなさんの活躍は、すばらしかった。表に出る人と裏で支える人が必ずいる。今回、自分は表に出させて頂いたが、どれだけ多くの人に支えられてきたことか。その人達の思いを感じ、感謝して演じることができた。

夕方から始まった「いたじきばらい」の途中、昨年「白波五人男」で出演した三名が団女師匠に呼ばれた。「出演して頂いてありがとう。本当にうれしかったですよ」その言葉に笑顔の三人であった。思いは同じ、「来年も頑張ろう！？」。最後に、加子母歌舞伎保存会の皆様をはじめ、お世話になった皆様に深く感謝しお礼申し上げます。

青少年健全育成委員会

「おはよう♪」あいさつ運動が始まりました!

９月から各区の青少年育成委員とＰＴＡ役員による､朝のあいさつ運動が始まりました｡まずは中学校の前で登校してくる子供たちと「おはよう♪」のあいさつ｡次は小学校の前で「おはよう♪」のあいさつ｡まだ眠そうな子も､恥ずかしそうにしてる子も…私にとっては加子母の子ども達とあいさつができる素晴らしい１日です｡この役をしていなかったら味わえない気持ちの良い「おはよう♪」です｡
青少年育成委員会では秋冬に向けて､立志式や鬼めくり展示など子ども達の姿を見ていただく機会を企画していきます｡大勢の皆さんの参加をお願いします｡

懐かしの香り

箱を開けると、わぁぁぁ～とヒノキの香り。それは、伊豆に暮らす知人からの贈り物。なんとなんと、わざわざ加子母から東濃ヒノキを取寄せ、お弁当箱と積み木をつくってくださったのです。彼女との出会いは加子母村。加子母に十数年通いながら、たくさんの人と加子母を繋いでくださったジャーナリストの小田孝治さんが連れきてくださった方のお一人。懐かしの香りと、ご縁の深さに思わず涙がポロリ。
六ヶ月になった春樹は、お粥はほんの少ししか食べないけど、ヒノキの積み木はよく食べる。節の部分が美味しいよ～と教えてます（笑）

からしお吟社

短歌

手拭いを額に巻きて気合入れいざ出陣ぞ熱暑のハウスへ
中島 さち子

俳句

踊る子の手先まっすぐ花舞台
熊崎 みつゑ

俚謡正調

呼べば山から谺が返る　里は豊年秋祭り
橘 三花（橘田拙夫）

Pet! ペット!

小郷
細江わらびちゃん　3才

私、ちょっと気が小さいの。でも クリクリ目のキュートな顔だと自分では思ってるわ！グループアイドル系かしら～ 私の相棒はゴリラのぬいぐるみでいつも一緒よ。うちの会社の人達が相棒のゴリラを投げてくれると、一目散で走って取りに行くのが私の一番好きな遊びよ！散歩は日に３回、朝昼晩と連れていってもらうからストレスゼロ。毎日楽しくて～知らない人が来ると よく吠えて番犬になる…とお母さんが喜んでくれるけど、私も役にたって嬉しいな

コウノトリ

	2012 年度		2013 年度	
	男の子	女の子	男の子	女の子
4月	1	2	0	0
5月	0	0	0	0
6月	1	1	0	0
7月	0	1	1	0
8月	1	0	0	2
9月	2	2	0	0
10月	1	1		
11月	0	0		
12月	1	1		
1月	0	0		
2月	0	0		
3月	2	1		
計	9	9	1	2

（平成25年９月17日現在）

かしも紀行
里山スケッチ

我が家にネギ爺と巫女が来た

私が住んでいる中切区は、今年の水無神社の上山車当番区で、その上今年は区長役を引き受けてしまっている。この区では総練習を区長宅でやるらしい。話を聞いて、とても出来ないとお断りしたのだが、祭委員長の「そういうもんじゃ」の一言で、お引き受けすることになったのだ。１５日は、大雨と覚悟を決めていたが、空は私達の味方をしてくれたのか、寸での処でこらえてくれている。そんな空の下、囃子の音が響いた。公会堂を出発したようだ。太鼓や笛の音と一緒に若連の姿が見えはじめた。黄金色に色づいた稲穂の向こうから、少しづつ若連の行列が近づいてくる。家の門に出てそれを迎える。５０年前にタイムスリップしたような、夢の中の一コマのような、不思議な、感動的な風景。巫女が舞い、湯取り神事が終わり、若連が引き上げると、待っていてくれたかのように雨が通り過ぎた。

かしも産業祭 in 六斎市

【日時】10月6日（日）午前10時～午後3時
【場所】中津川市街地商店街（ユニー跡地）

毎月第一日曜日に中津川市街地商店街で行われている六斎市。10月は「かしも産業祭」が行われます。今年は中京学院大学学園祭が5日・6日にアピタ前ふれあい公園で行われており、交流イベントとして中京学院大学生による出店やステージパフォーマンス、中京学院大学学園祭での加子母の木遣り音頭の披露などがあります。もちろん、かしも産業祭では、かしもの特産品の販売やステージイベントで盛りだくさん！イベント最後に行われる「くじ入り餅投げ」は毎年たいへん賑わいます。
※詳しくは六斎市前日、5日の新聞折込をご覧ください。

女三人旅姿

ベコニア、百日紅の花が沿道を飾り、大歓迎のシャワーを浴びて加子母入り。一年がかりで楽しみしていた地歌舞伎を、加子母通の御姉様に連れられてやってきました。地元に暮らしている人はなんだか気負ってなく自然体でそこにいる。人と自然と文化のバランスが取れている居心地の良い空気です。
翌日、まちに待った明治座へ。桧の割り符が洒落ている。一幕目は元禄花見踊り。四人のかわいい女の子の初舞台に、もう目はうるうる。すっかり母になってしまった。お捻りも沢山撒かれ役者に花を添える。熱演の市乃谷ふたば軍記の上気も覚めぬままに役者が舞台に勢ぞろい。皆良い顔をしている。木戸が開き、黄金色に波打つ稲穂の上を清清しい風が吹き渡った。
心と体が開放された瞬間だ。

名古屋市　三浦昭子

編集後記
編集長／秦

となりの『さえこのどさない日記』でも書いてある様に、かしも通信が平成22年に発行した「加子母人」の第2弾の制作が始まっているのだ。
僕は前回は本にするにあたってデザインだけを担当したのだが、今回は中身の聞き書きにも参加する。協力していただく学生さんと共に聞き書きの講義にも出た。
それぞれが担当の人の話を何回か聞きに行き、それをその人の言葉だけでまとめるのだが、なかなか難しい。
僕が今回お話を伺っているのは河村医院のひろこ先生。
先日お話を聞きに行き、とても面白い話を聞く事が出来た。少しまとめたらまた続きを聞きに伺おうと思っています。
いいものを作りたいですね。
加子母人の初回版をまだ読んでない人は、ぜひ急いで読もう!
第2 号が2 月にでるよ!

かしも通信
2013年9月25日発行 No.102

Publisher
Hara Yuumi

Editor in Chief
Hata Masafumi

Deputy Editor
Honma Kiyoko

Editors
Miura Masaki
Taguchi Sachiko
Tanaka Hiroko
Sato Yoko

Correspondent
Zenda Nao

Illustrator
Honma Kiyoko

さえこのどさない日記

地域おこし協力隊／日吉 沙絵子

「加子母人」の第二刷目を作るべく、ついにかしも通信聞き書き部が動き始めました。「加子母人」は、加子母で暮らしてきた方の生きた知恵を残していくために作られる聞き書き冊子です。話し手のしゃべり言葉だけで文章をまとめてゆきます。域学連携で加子母へ来てくれている学生さんたちと一緒に、私も聞き手として参加させていただきます。事前の聞き書き講習で、「専門家よりも、知識を何も持たない若者の方が地域の方は心を開いてお話をしてくれる。だからその分奥深い作品ができる」と講師の渋澤先生がおっしゃっていました。「無知」は聞き書きにおいて決して悪いことではない、そう教わりました。
私は全く無知の状態で加子母へ来ました。絵を描けるわけでもなく歌を歌えるわけでもなく、何も特技を持ち合わせないままこちらへ来て、林業や田舎暮らし、地域づくりについて、みなさんのお話や暮らしぶりからただ学ぶばかりでした。そんな私ですが、最近は「無知の状態で加子母へ来て良かった」強く思います。何も知らないからこそ地域の方に遠慮なく聞くことができ、知恵をわけてもらえる。助けてもらえる。地域の方にとってプラスになるかはともかく、それはひとつ、自分の得意技なのかもしれないなと感じています。
これから始まる聞き書き。どんなお話が飛び出してくるのか、楽しみです。

今月の区長

【万賀 】
吉村勝慶さん

年に4、5 回あるメーカーとの親睦ゴルフが楽しいねぇ～ 腕は下手の横好き…という程度だけどね。ゴルフは、こうしたらもっとよくなるんじゃないか…と、工夫したり考えたりするから面白いね。普段プライベートで会わないメーカーの役職の人達と色々喋ったりするのも刺激になるよ。リフレッシュだね～（気さくで真面目なお人柄感じました。）

飛騨･美濃歌舞伎大会 えな2013

9月29日（日）

会場:恵那文化センター（恵那市）／入場料:無料
お問合せ: 0573-43-2112（恵那市役所文化課）

加子母歌舞伎保存会は
一乃谷嫩軍記「熊谷陣屋」で出演します。

役	出演
熊谷次郎直実	**秦 雅文**
源義経	**安江 恒明**
弥陀六（実は弥平衛宗清）	**丹羽 貞蔵**
梶原平次景高	**三浦 正樹**
堤軍次	**丹羽 崇**
相模	岩木 誠
藤の局	今井 梓沙
家来	熊沢 あかり
家来	伊藤 万由子
家来	伊藤 成美

かしもっ子だヨ！全員集合

Junior High School 加子母中学校

Elementary School 加子母小学校

トマト販売～地域への思い～

５年生が道の駅「かしも」でトマト販売をしました。夏の間、水やり当番を決めて世話をしてきたトマトが収穫の時期を迎え、前日から秤で重さを量り一袋一袋ていねいに袋詰めしました。この取り組みは、総合学習で行っている５年生のテーマ「トマト大作戦」のひとつです。当日は子どもたちは、自作の看板を作成して、車で通る人達に大きな声で呼びかけました。
今までの取り組みを情報発信する場として、また、地域の人々とのふれあいを通して、人と人とのつながりの大切さや自分たちの住んでいる地域への誇りを考える機会と考えています。道の駅「かしも」の方々のご理解やトマト組合の方々のご指導によりこのような継続した取り組みができていることに感謝します。また、購入していただいた方からも感想や励ましの言葉をいただいています。一部紹介します。
子どもたち一人一人の思いを大切にしながら５年生の「トマト大作戦」は続きます。

加子母のトマトは、中身がしっかりしていて、とてもおいしいです。これぞトマトという感じです。大好きです。毎年、数回ドライブをかねて道の駅まで買いに行っています。今年も行くつもりです。５年生の皆さん、元気にまっすぐ大きくなって下さい。

Nursery School 加子母保育園

西方いもの歌

昔から小郷地区の西方に嫁いできたお嫁さんは、その家の里いも作りを引き継いでこられました。代々、お嫁さんによって守られてきた家々の品種は、今日でも「西方いも」の名でつくられています。その「西方いも」を広めようと、作詞…梅田周作さん、作曲…原ゆうみさんで「西方いも」の歌が作られました。とっても可愛い歌です。
９月の５日に加子母のママさんコーラスの皆さんと保育園年長組の子供たちが一緒になり練習をしました。元気な子供たちの声と、優しいママさんコーラスの皆さんの声が一緒になり、とても素敵でした。子どもたちは小さい時から地域に関わって育っています。他に大好きな歌♪あおいそらにえをかこう♪と♪帰ろうかしもふるさとへ♪も大きな声で歌い、楽しみました。その様子を録音してもらったので、加子母地域の方に聴いて頂けるチャンスもあると思います。

10月の行事予定		
1	火	
2	水	乳幼児なんでも相談 (9:30 ～ 11:30)
3	木	
4	金	小学校 ２年生社会見学
5	土	保育園 運動会
6	日	加子母産業祭 in 六斎市
7	月	
8	火	行政相談（事務所1階　9:00 ～ 11:00)
9	水	
10	木	BCG 予防接種（受付 13:00 ～ 13:15)
11	金	中学校 前期終業式 小学校 1 年生社会見学 保育園 遠足
12	土	
13	日	加子母体育祭 大型・有害ゴミ
14	月	体育の日
15	火	中学校 後期始業式
16	水	2 歳児相談（受付 9:00 ～ 9:10)
17	木	こころの相談（要予約） 中学校 ロードレース 小学校 ３年生社会見学
18	金	夜間行政相談（事務所2階　19:00 ～ 21:00) 小学校 ５年生社会見学 保育園 中学３年生保育実習 保育園 年長懇談会（19:00 ～)
19	土	中学校 東濃駅伝
20	日	加子母文化祭 不燃ゴミ・資源、硬質ゴミ
21	月	
22	火	人権相談（P1:30 ～ 3:30 総合事務所1階会議室) 3 か月健診（受付 12:45 ～ 13:00)
23	水	農事改良組合長会（事務所２階　20:00 ～) かしもっこ広場（焼き芋)
24	木	区長会（事務所２階　13:30 ～)
25	金	中学校 日本福祉大学ワークショップ（域学連携事業) 小学校　授業参観
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	はみがき教室（受付 9:00 ～ 9:30) 妊婦歯科健診（受付 10:00 ～ 10:15)
31	木	保育園 年長児交通安全りんご狩り

こちら**総合事務所**です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。
みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。　(加子母総合事務所:0573-79-2111まで)

「トヨタ紡織森づくり事業」９月は草刈と伐り枝でフォトスタンド作り！

９月７日（土）、朝からどんよりとした雲行きで雨が心配される中、トヨタ紡織の３２人が舞台峠の「環境の森」加子母で、森づくりボランティア作業で草刈と、植栽木の剪定した枝を使ったクラフトを行いました。草刈は、手刈り隊と草刈り機隊に分かれて実施。今年の夏は、草刈が不十分だったためかなり繁茂した状態で、参加したみなさんは悪戦苦闘していました。クラフト体験では、植栽木の枝を剪定し、それを活用してフォトスタンド作りに挑戦しました。

【中津川市民大学講座】『裏木曽三ヶ村の江戸時代』が開催されます

『裏木曽三ヶ村の江戸時代　～加子母村・付知村・川上村～』と題して、裏木曽三ヶ村の成立から、江戸時代の三ヶ村に関わりを持ってきた人物についての歴史物語講座を、下記のとおり開催します。

【開催日時】　10 月 11 日（金）　午後２時～
【講師】　杉村啓治さん（裏木曽歴史研究者）
【開催場所】　かしも明治座
【受講料】　200 円／１人
【申込方法】　電話か先月の区長会でお配りしてある申込書で
加子母総合事務所（79-2111）へお申し込みください。
【申込締切】　10 月４日（金）

秋の全国交通安全運動（９月 21 日～ 30 日）

スポーツの秋！芸術の秋！

【第５５回加子母体育祭】
10 月 13 日(日) 午前９時～(雨天中止) 加子母小学校グラウンド(加子母総合グラウンド)

【第 38 回加子母文化祭体育祭】
○発表の部：10 月 20 日（日）午前 10 時開演 / 加子母公民館（ささゆり会館）多目的ホール
○展示の部：10 月 20 日（日）～ 22 日（火）/ 加子母公民館（ささゆり会館）第1・第2研修室

※小秀山登山道を閉鎖しています

先日の台風１８号の影響により、小秀山登山道を一時閉鎖しています。 閉鎖期間は未定です。

図書室だより

■かあちゃん取扱説明書　／　いとうみく
「かあちゃんは、ほめるときげんがよくなるんだ。とにかくほめること。パソコンもビデオも、あつかい方をまちがえると、動かないだろ」―そうか、あつかい方だ！かあちゃんのあつかい方をマスターしたら、おこづかいだって、おやつだって、ゲームだって、ぼくの思い通りになるかもしれない。

■ぼくらの悪（ワル）校長退治　／　宗田 理
「ぼくら」シリーズ最新刊！青森の中学校で、先生のいじめが行われていると知った「ぼくら」。新米先生を助けるため津軽へ・・・

■大泉エッセイ　／　大泉 洋
大泉洋本人執筆による、大泉洋の素顔の 16 年間が詰まった、笑って泣けるエッセイ集。大泉洋ならではの「笑い」が散りばめられたエピソードはもちろん、時にノスタルジック、時に切なくて、思わず「泣いて」しまいながらも、でも読むうちに不思議と元気になれる、まさに「大泉ワールド」全開のエッセイが満載。自身の本音が詰め込まれた熱い渾身の原稿は、爆笑必至なのに、思わず「胸が熱く」なる！

■池上彰が聞いてみた「育てる人」からもらった６つのヒント　／　池上 彰
ひとつのことに道を極めた人の話から学ぶたくさんのこと。
人を育てる　人に教える　人を伸ばす・・・すぐに役立つヒント満載

加子母の人口と世帯数（平成25年9月1日現在）世帯数：998世帯　男：1,490人　女：1,617人　計：3,107人